

# ヨハネによる 福音書、第3章 1-8節と 16-21節

1. パリサイ人の一人で、その名をニコデモというユダヤ人の指導者があった。
2. この人が夜 イエスのもとに 来て 言った、「先生、わたしたちはあなたが神から 来られた教師であることを 知っています。神が ごいっしょで ないなら、あなたが なさっておられる ような しるしは、だれにも できは しません」。
3. イエスは 答えて 言われた、「よくよく あなたに 言うておく。だれでも 新しく 生まれなければ、神の 国を 見ることは できない」。
4. ニコデモは 言った、「人は 年を とってから 生まれることが、どうして できますか。もう一度、母の 胎に 入って 生まれることが できましようか」。
5. イエスは 答えられた、「よくよく あなたに 言うておく。だれでも、水と 霊とから 生まれなければ、神の 国に 入ることは できない」。
6. 肉から 生まれる 者は 肉で あり、霊から 生まれる 者は 霊で ある。
7. あなたがたは 新しく 生まれなければ ならないと、わたしが 言ったからとて、不思議に 思うには およばない。
8. 風は 思いのままに 吹く。あなたは その音を 聞くが、それが どこから 来て、どこへ 行くかは 知らない。霊から 生まれる 者も みな、それと 同じで ある」。
16. 神は その ひとり子を たまわったほどに、この世を 愛して 下さった。それは み子を 信じる 者が 一人も 滅びないで、永遠の 命を 得るためである。
17. 神が み子を 世に つかわされたのは、世を さばくためではなく、み子によって、この世が 救われるためである。
18. 彼を 信じる 者は、さばかれない。信じない 者は、すでに さばかれている。神の ひとり子の 名を 信じることを しないからである。
19. その さばきと いうのは、光が この世に 来たのに、人々は その 行いが 悪いために、光よりも やみの方を 愛したことで ある。
20. 悪を 行っている 者は みな 光を 憎む。そして、その 行いが 明るみに 出されるのを 恐れて、光に 来ようとは しない。
21. しかし、真理を 行っている 者は 光に 来る。その人の 行いの、神にあって なされたということが、明らかに されるためである。

聖句は日本聖書協会の口語訳聖書より

出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2014年、ファミリー・インターナショナル

"Audio: John 3:1-8, 16-21"--Japanese

関連の読み物はこちら ⇒ 聖書、イエス様、救い